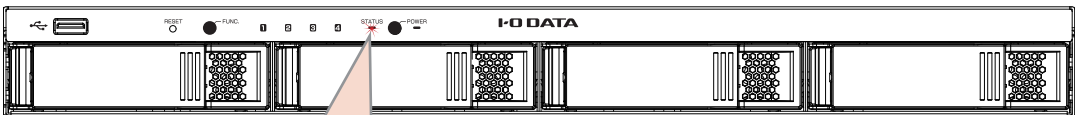


## 管理マニュアル

LAN DISK  
HDL-HR シリーズ

すぐ取り出せる場所に保管してください



### ランプが赤く光ったら、この冊子をご覧ください

ランプの点灯やブザーから問題を把握したり、故障したカートリッジを交換する方法が記載されています。

いざというときに手に取れる場所に保管してください。

# もくじ

## 注意事項など

本製品を使う上で、お守り  
いただきたいご注意ください。  
必ずお読みください。

## 使う前に

本製品の使用目的.....	3
使用説明の構成.....	3
安全のために.....	4
使用上のご注意.....	6
添付品を確認する.....	8
交換用HDD、対応HDD/UPS.....	9
各部の名称・機能.....	10

## 初期設定

本製品の設置・導入方法です。

## 基本的な使い方

ステップ1：設置し、電源を入れる.....	13
ステップ2：本製品の設定をする.....	19
ステップ3：パソコンからアクセスする.....	26
本製品の基礎知識.....	31

## 詳細設定

その他の設定です。必要に  
応じてご確認ください。

## 便利な使い方

機能一覧.....	33
本製品の容量を増やす.....	36

## 故障時の対応・資料

故障時の対応や、その他本  
製品の資料情報です。  
必要に応じてご確認ください。

## ランプと対処

故障と思ったら.....	38
カートリッジの交換方法.....	40

## 資料

添付ソフトについて.....	41
アフターサービス.....	42
ハードウェア保証規定.....	44

# 使う前に

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

## 本製品の使用目的

本製品は、ネットワーク HDD (NAS) です。  
データを本製品に保存し、ネットワーク上で共有できます。  
※本製品は屋外に設置しないでください。

## 使用説明の構成

本製品の使用説明には、次のものがあります。

### ● 管理マニュアル (本書)

本製品の初期設定方法を説明しています。

### ● 画面で見るマニュアル

詳細設定などは、インターネットにある画面で見るマニュアル (PDF) をご覧ください。

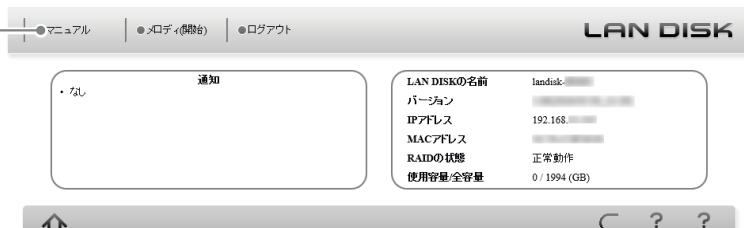
最新の使用説明は、弊社サポートライブラリでご覧いただけます

<http://www.iodata.jp/lib/>

本製品の型番で検索してください。





本製品の設定画面から開くこともできます。(最新版は、上記サポートライブラリでご覧ください。)



# 安全のために









お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

## ▼警告・注意表示

 <b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
 <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

## ▼絵記号の意味

 禁止	 指示を守る
--	---

 <b>警告</b>	
<p><b>本製品を修理・改造・分解しない</b></p> <p> 発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。</p>	<p><b>故障や異常のまま、つながない</b></p> <p> 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。</p>
<p><b>雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない</b></p> <p> 感電の原因になります。</p>	<p><b>本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう</b></p> <p> 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。</p>
<p><b>電源コードや本製品をぬらしたり、水気の多い場所使わない</b></p> <p> 水や洗剤などが電源コードや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。</li><li>・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。</li><li>・万一、電源コードや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。</li></ul>	<p><b>煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める</b></p> <p> そのまま使用すると発火・感電の原因になります。</p>
	<p><b>本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない</b></p> <p> 発火の原因になります。</p>

**⚠ 警告 ●電源 (コード・プラグ) について**

電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない



電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付の電源コードは、他の機器につながらない



発火や感電の原因になります。  
添付の電源コードは、本製品専用です。

AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない



発火、発熱のおそれがあります。

コンセントまわりは定期的に掃除する



長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)  
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

熱器具のそばに配線しない



電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源コードにもものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない



電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。  
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く



そのまま使うと発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながらない



電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない



発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない



テーブルタップの定格容量(1500Wなどの記載)を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

**⚠ 注意**

本製品を踏まない



破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない



足を引っ掛けると、ケガの原因になります。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

# 使用上のご注意

---

## 《重要》データバックアップのお願い

---

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

### バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

## 最新のファームウェアをご利用ください

---

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

**【ファームウェアの更新について確認する】**（25 ページ）

## 本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

---

- ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- NarSuSに登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

## 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。

ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

## お手入れについて

本製品についての汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
- 市販のクリーニングキットは使わない。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

# 添付品を確認する

---

電源コード (1 本)

LAN ケーブル (2 本)

USB ロックキーシール (2 枚)

マスターキー保存用 USB メモリー (1 本)

※本製品の暗号化機能を利用する際に使用します。詳しくは、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

サポートソフト CD-ROM (1 枚)

ラックマウントレール (1 式)、レール引き出し用ハンドル (1 式) ※

※内容物は、【ラックマウントレール取り付け前の準備】(13 ページ) をご覧ください。

管理マニュアル (本書)

ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしてください。

シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。

(例: ABC1234567ZX)



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



# 交換用 HDD、対応 HDD/UPS

## 本製品の動作環境について

本製品の動作環境は、型番ごとに異なります。

以下の弊社ホームページをご覧ください。お使いの製品型番で検索してください。

<http://www.iodata.jp/>

## 交換用 HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。

[http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas\\_hdd.htm](http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm)



使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

### ご注意

- 交換用 HDD には、システムはインストールされていません。
- 拡張ボリューム（出荷時設定）で使っている場合、容量をあとから増やすことができます。大きな容量のカートリッジへの交換方法は、【本製品の容量を増やす】（36 ページ）をご覧ください。
- RAID 6、RAID 1、RAID 0 の場合は、本製品の容量をあとから増やすことはできません。

## 対応外付 HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。

<http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>



### ご注意

- 外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。

## 対応 UPS

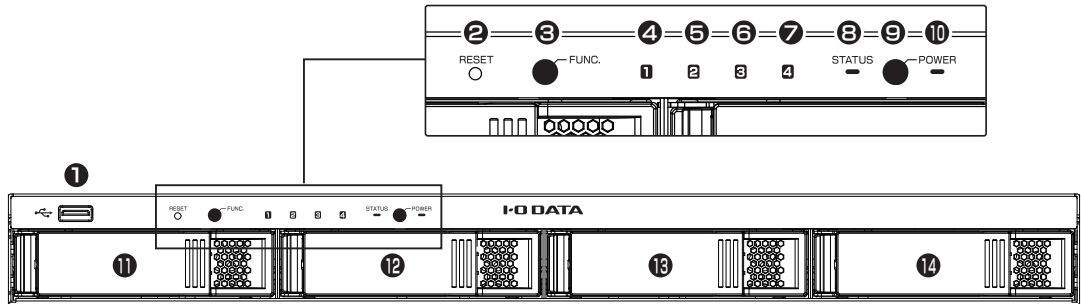
以下の弊社ホームページをご確認ください。

<http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm>



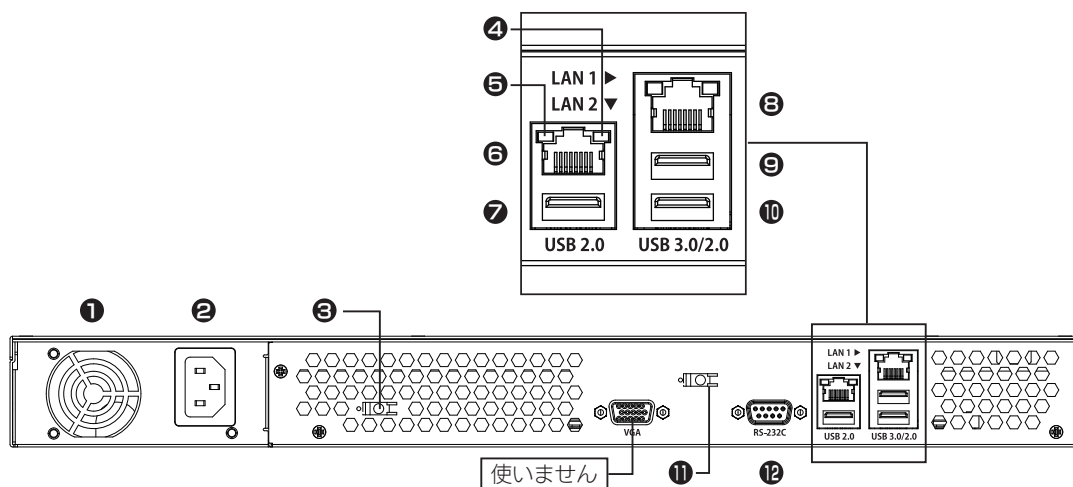
# 各部の名称・機能

## 前面



① USB ポート 1	増設用 USB 機器を接続します。(USB 2.0) クイックコピー、ロックキー運用時に使います。 ※クイックコピー、暗号化ボリュームについては、『画面で見るマニュアル』でご確認ください。
② RESET ボタン	本製品の管理者パスワードと LAN1 ポートの設定を出荷時設定に戻します。
③ FUNC ボタン	ブザーを停止するときに押します。
④ HDD ランプ 1	各 HDD の状態を示します。 (【ランプと対処】(38 ページ) 参照)
⑤ HDD ランプ 2	
⑥ HDD ランプ 3	
⑦ HDD ランプ 4	
⑧ STATUS ランプ	本製品の状態を示します。 (【ランプと対処】(38 ページ) 参照)
⑨ POWER ボタン	電源を ON/OFF します。
⑩ POWER ランプ	本製品の電源の状態を示します。 (【ランプと対処】(38 ページ) 参照)
⑪ HDD 1	カートリッジを挿入します。
⑫ HDD 2	
⑬ HDD 3	
⑭ HDD 4	

## 背面



①	ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。
②	電源コネクタ	電源コード／ACアダプターをつなぎます。
③	電源コードフック	抜け防止用です。電源コードを引っかけて使います。
④	ACT/LINK ランプ (LAN 1/LAN 2 共通)	橙点灯 LINK 中 橙点滅 データを送受信 消灯 未接続
⑤	1000/100/10 ランプ (LAN 1/LAN 2 共通)	橙点灯 1000BASE-T で接続中 緑点灯 100BASE-TX で接続中 消灯 未接続、または 10BASE-T で接続中
⑥	LAN 2ポート	添付のLAN ケーブルをつなぎます。
⑦	USB ポート 2	増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 2.0) プリンターをつなぎます。
⑧	LAN 1 ポート	添付のLAN ケーブルをつなぎます。
⑨	USB ポート 3	増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) ミラーリング機能のため、ミラーディスクをつなぎます。 ※ミラーリングについては、『画面で見るマニュアル』をご確認ください。
⑩	USB ポート 4	RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 3 とペアを構成できます。 増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 3 とペアを構成できます。
⑪	USB コードフック	抜け防止用です。USB ケーブルを引っかけて使います。
⑫	RS-232C ポート	対応 UPS をつなぎます。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

# 基本的な使い方

次の3ステップをおこなうと、データをパソコンから本製品に保存し、他のパソコンと共有できるようになります。

【ステップ1：設置し、電源を入れる】（13 ページ）

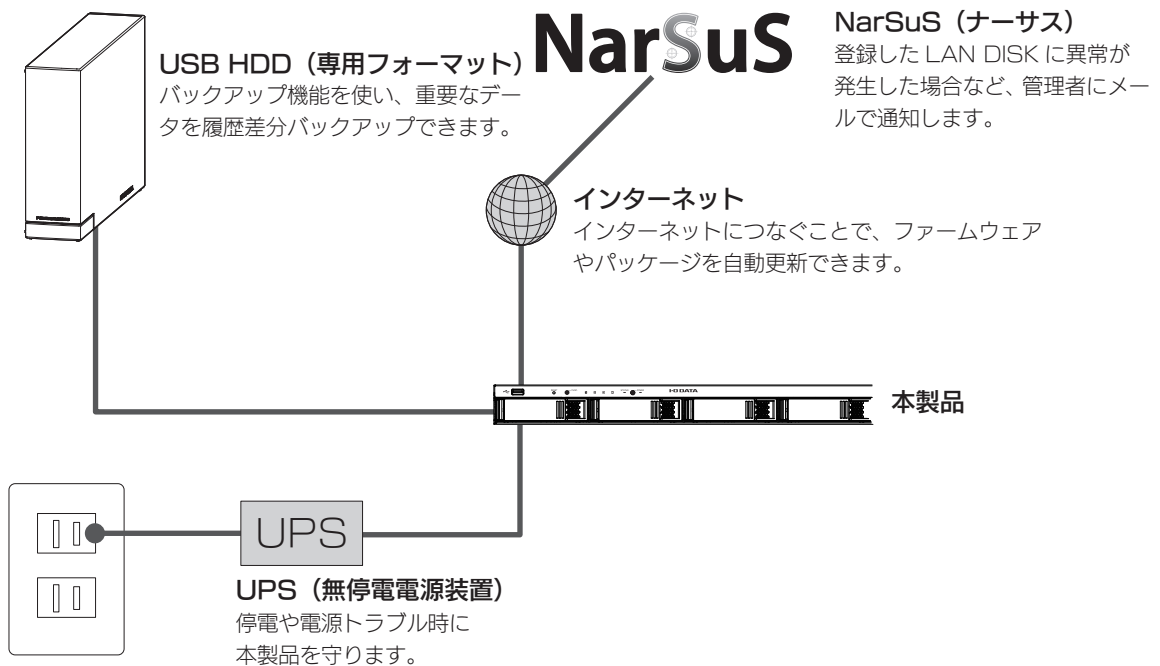


【ステップ2：本製品の設定をする】（19 ページ）



【ステップ3：パソコンからアクセスする】（26 ページ）

## 使用環境例



### ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバー機能をご確認ください

事前にご利用のネットワーク環境で DHCP サーバー機能が有効になっていることをご確認ください。  
(ネットワーク管理者にご確認ください。)

DHCP サーバー機能が無効な場合は、本製品をネットワークに参加させるための適切な IP アドレスを取得し、本製品に設定してください。

※ IP アドレスは、【ステップ2】の「初期設定」の「ネットワーク」タブで設定します。

(【管理者パスワード設定と初期設定をする】(21 ページ) 参照)

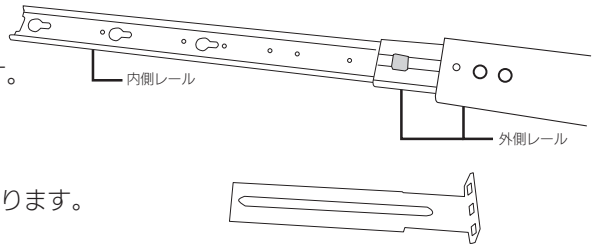
※一般的なブロードバンドルーターは DHCP サーバー機能が有効となっているため、IP アドレスの設定は必要ありません。

# ステップ1：設置し、電源を入れる

## ラックマウントレール取り付け前の準備

### 1 ラックマウントレール一式を確認する

- ラックマウントレール用内装箱
- スライドレール(2本)
- ※内側レール、外側レールに別れます。



- L ブラケット(4個)
- ※ Front(前)用、Rear(後)用があります。  
(F、Rと表示あり)

□マウントブラケット(4個) ※袋に入っています。本製品では使用しません。

・ネジ袋内 ※本製品では使用しないネジもあります。

- M5x8 (10個)
- M5x15 (4個)
- M4x6 (16個)
- M4x4 (14個) ※黒色
- #8-32x5 (10個)
- ワッシャ (10個)
- ナット (8個)

●レール引き出し用ハンドル

- ハンドル(2個)
- M3平頭ネジ(4個)

### 2 以下のものを準備する

- 別途ご用意いただくもの
- ご使用のラックに対応したクリップナット (前面6個、背面4個)

#### クリップナット

- 以下添付のネジに対応したものをご用意ください。  
M5x8 ネジ対応のもの8個、M5x15 ネジ対応のもの2個



- プラス (+) ドライバー
- メジャー
- 手袋

※スライドレールには、動きをスムーズにするために油が塗付されています。また、ケガ防止のため、手袋の着用をおすすめします。

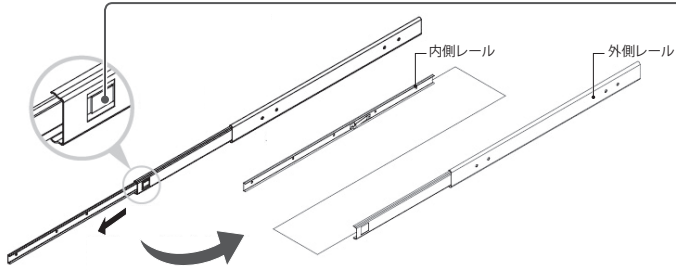
### 3 以下を確認する

- ・本製品の電源を OFF にしてください。
- ・本製品の電源の AC コードをコンセントから抜いてください。

上記を確認できたら、取り付けます。

## ラックマウントレールを取り付ける

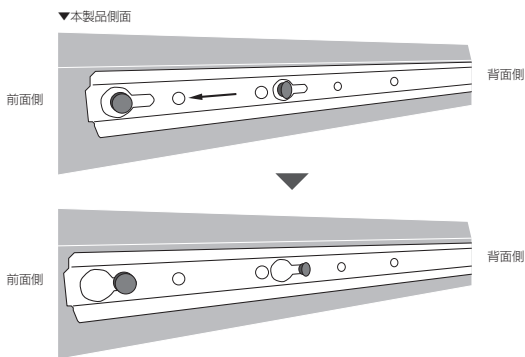
1



スライドレールの留めがねを押しながら、矢印方向に引き抜く

※ 内側レールと外側レールに分解します。

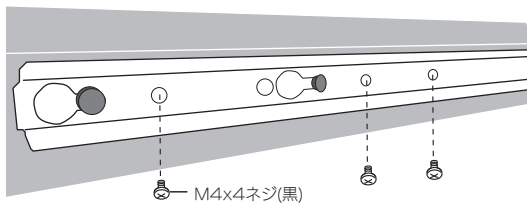
2



内側レールを本製品の両側面に取り付ける

※ ロック位置にカチッと鳴るまでスライドし、はめ込みます。

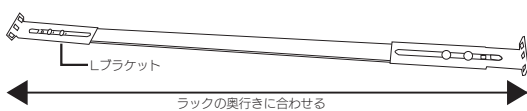
3



本製品に内側レールを固定する

※ M4x4 ネジ (黒) を使用します。(両側面 3本ずつ)

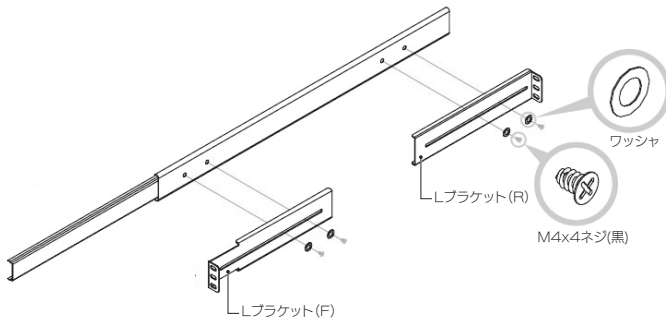
4



メジャーでラックの奥行きを測り、Lブラケットの取付位置と合わせる

※ L ブラケットは、前 (F) と後 (R) があります。

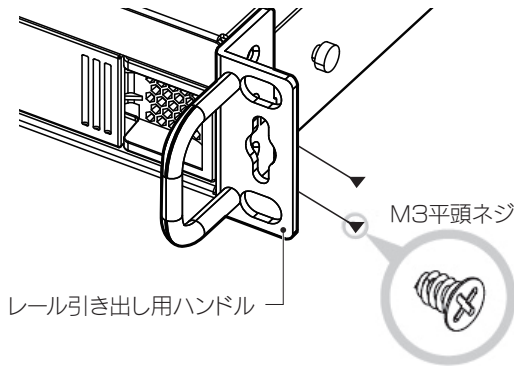
5



L ブラケットを固定する

※ M4x4 ネジ (黒) とワッシャを使用します。

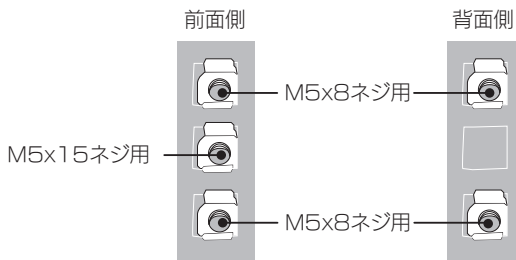
6



別添付のレール引き出し用ハンドルを本製品の両側面 (前側) に取り付ける

※ M3平頭ネジを使用します。  
※ 上のネジ穴には取付できません。  
中央と下のネジ穴に固定してください。

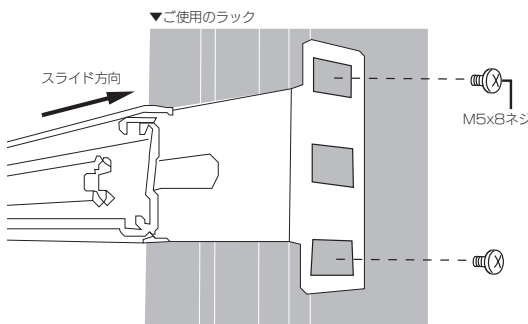
7



クリップナットをご使用のラックに取り付ける (合計10か所)

※ 外側レールのLブラケットの穴がクリップナットの位置に合っていることをご確認ください。  
※ 背面側のクリップナットは、正面側に取り付けたクリップナットの上、下の位置に合わせます。(中央は空けます。)

8



外側レールをラック (クリップナット) に取り付ける (合計8か所)

※ M5x8 ネジを使用します。  
※ スライドする側を前面にします。

使う前に

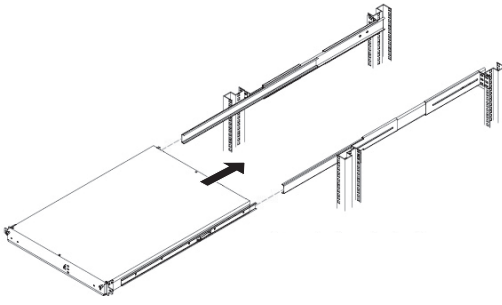
基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

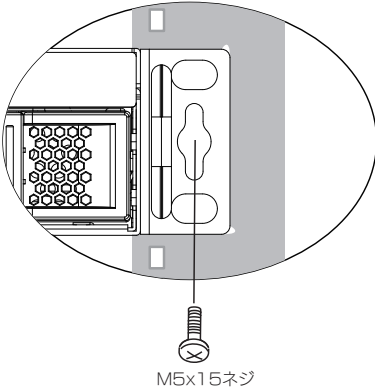
9



外側レールを伸ばし、内側レールをはめ込む

- ※ 本製品がラック奥にロックされるまでスライドさせます。
- ※ 両側面の留めがねを押しながらスライドします。

10



本製品をラックに固定する  
(合計2か所)

- ※ M5x15 ネジを使用します。
- ※ 本製品前面の両端の中央に取り付けます。

以上で、ラックマウントレールの取り付けは完了です。



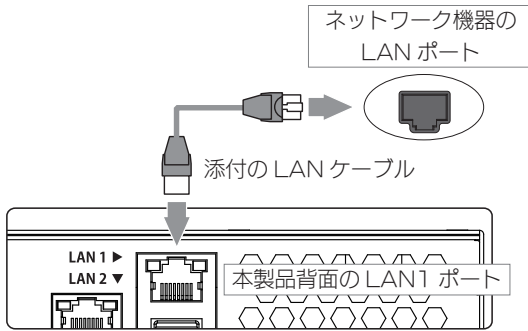
つなぐ

接続時のご注意

- 給電されている LAN ケーブル (Power over Ethernet) は絶対につながらない。故障の原因になります。
- 側面・前面の吸気口、背面の排気口は塞がないように設置してください。

1 ネットワーク内のパソコン、ルーターなどが正常に動作していることを確認する

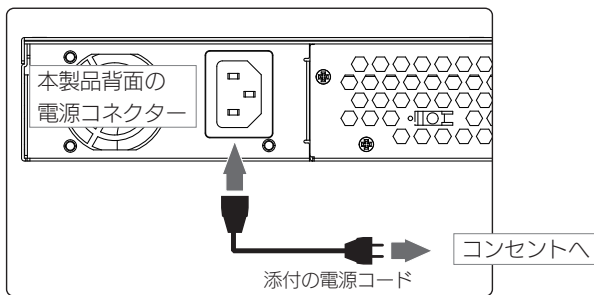
2



LAN 2ポートについて

LAN1 ポート側とは別のネットワークにつなぎます。  
 .  
 例えば、バックアップ・レプリケーション用の別ネットワークとつなぎ、メインネットワークへバックアップによる負荷を掛けないようにします。

3



電源コードの抜けを防ぐ

フックに電源コードを固定しておくことをおすすめします。

使う前に

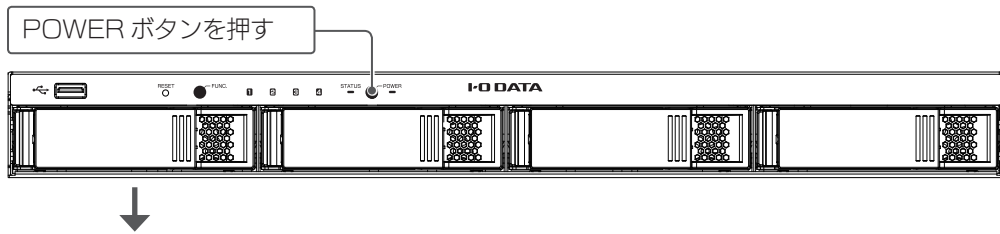
基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

## 電源を入れる



起動完了 [STATUS ランプが緑点灯か赤点灯 (赤点滅)] まで待つ

### ご注意

- 動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源を切らないでください。故障やデータ消失の原因となります。特に、電源ケーブルを抜く、テーブルタップのスイッチを OFF にするなどにご注意ください。電源の切り方については、【電源を切る場合】(18 ページ) をご覧ください。
- 出荷時設定でファームウェア、パッケージの [自動更新] [更新通知] が有効のため、起動時にインターネットへ接続します。
- 出荷時設定で LAN2 ポートは有効に設定されています。LAN2 ポートがネットワークに接続していない場合、起動時にお知らせが表示されます。

## 電源を切る場合

POWER ボタンを“ピッ”と鳴るまで押すと、ランプが点滅します。電源が切れたら、ランプが消灯します。

(“ピッ”と鳴ったあとも長押しをし続けると、強制シャットダウンになります。)

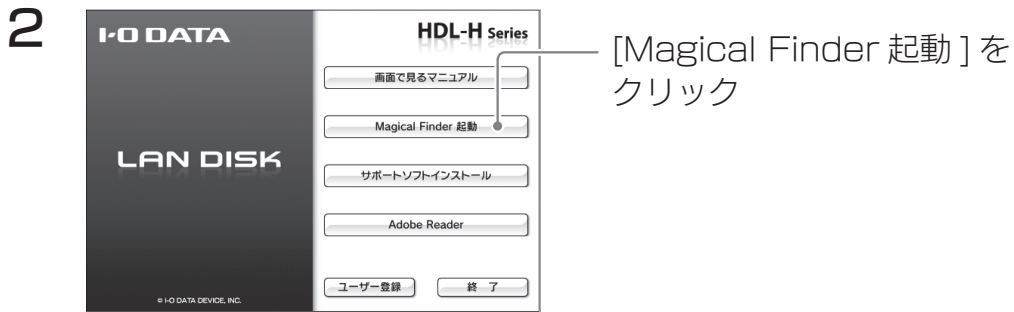
### ご注意

- ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。

# ステップ 2：本製品の設定をする

## ● Windows の場合 ※ macOS の場合は、次ページ参照

- 1 本製品と同じネットワークにつながっているパソコンに、添付のサポートソフトをセットする



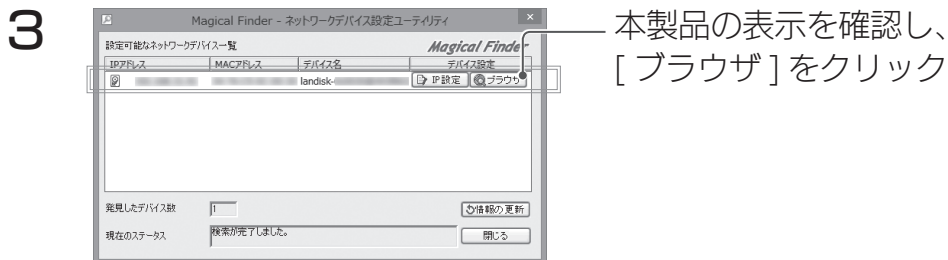
### メニューが表示されない

- Windows 10、8 の場合
  - ①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリック
  - ②メニューが表示されたら、[エクスプローラー] をクリック
  - ③本製品のアイコンをダブルクリック
- Windows 7、Vista の場合
 

[スタート] → [コンピューター] をクリックし、本製品のアイコンをダブルクリック

### 各種表示について

- Windows 10、8 の場合は、画面に表示されるメッセージをクリックします。
- 操作の選択画面が表示された場合、[HDL-H support soft menu] を選びます。
- 「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示された場合、[アクセスを許可する] または [ブロックを解除する] をクリックします。



### 本製品が表示されない

- 以下をご確認ください。
  - ・30 秒ほど待ってから、[情報の更新] をクリック
  - ・セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能を一部解除してみる
  - ・本製品が正しくネットワークにつながっていること
  - ・LAN ケーブルがしっかり取り付けられていること、LAN ケーブルを交換してみる
  - ・本製品の電源が入っていること

本製品の設定画面が開きます。次に【管理者パスワード設定と初期設定をする】(21 ページ) へお進みください。

使う前に

基本的な使い方


便利な使い方

ランプと対処

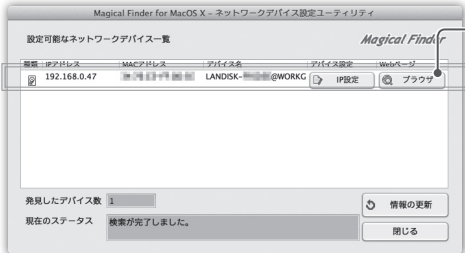
資料

## ● macOS の場合

1 本製品と同じネットワークにつながっているパソコンに、添付のサポートソフトをセットする

2  デSKTOPのアイコンを開き、  
[スタート画面 .dmg] をダブルクリック

3  [Magical Finder] を  
ダブルクリック  
※認証画面が表示された場合は、Mac に設定してあるパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

4  本製品の表示を確認し、  
[ブラウザ] をクリック

### 本製品が表示されない

- 以下をご確認ください。
  - ・30 秒ほど待ってから、[情報の更新] をクリック
  - ・セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能を一部解除してみる
  - ・本製品が正しくネットワークにつながっていること
  - ・LAN ケーブルがしっかり取り付けられていること、LAN ケーブルを交換してみる
  - ・本製品の電源が入っていること

本製品の設定画面が開きます。次に【管理者パスワード設定と初期設定をする】(21 ページ) へお進みください。

## 管理者パスワード設定と初期設定をする

はじめて設定画面を開いた時は、最初に管理者（ユーザー名:admin）のパスワードを設定し、初期設定へ進みます。

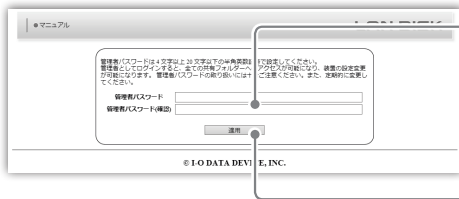
※ 初期設定の内容は、後から設定画面で変更できます。

1



何も入力せずに、  
[ログイン] をクリック

2



2つの欄に同じ管理者  
パスワードを入力する



[適用] をクリック

### 管理者 (admin) について

管理者パスワードを使うと、本製品の全設定やすべての共有（全員共有、ユーザー共有、グループ共有）にアクセスできます。

※パスワードは漏れないようにしっかり管理し、定期的に変更してください。

※すべての共有にアクセスできるのは、Windows からのみです。

※管理者パスワードは、次の場合などに使います。

- 本製品の設定画面を開く
- Magical Finder から IP 設定する
- 管理者として共有フォルダーにアクセスする

※管理者パスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを押します。管理者パスワードとネットワーク設定が出荷時設定に戻ります。

3



[初期設定を保持する] を  
クリック

※ 各タブの設定は、基本的に変更しなくても利用できます。

### 各タブの設定内容

タブ	内容
名前	本製品の名前、説明、設置場所を設定できます。名前を変更した場合は、ネットワーク上で表示される本製品の名前が変わります。
ネットワーク	本製品の IP アドレス設定ができます。(IPv4 のみ)
Microsoft ネットワーク	本製品が参加するネットワークを設定できます。
時刻	本製品の時刻設定ができます。
内蔵ボリューム	本製品の RAID モードの変更や暗号化の設定ができます。
省電力	本製品の省電力設定ができます。
電源スケジュール	本製品の起動時刻、終了時刻のスケジュール設定ができます。

次に【NarSuS 登録をする】(22 ページ) へお進みください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

## NarSuS 登録をする

### NarSuS（ナーサス）とは？

「NarSuS（ナーサス）」とは、製品の状態をインターネット経由で管理できるクラウド管理機能です。お客様に代わって NarSuS データセンターが製品の状態を把握し、万が一の障害をいち早く察知し通知します。

#### ● 製品と離れたところからでも状態を確認

Web 上の管理画面なので、どこからでも状態を確認できます。

#### ● トラブル時にすばやくメールでお知らせ

製品にトラブルが発生したら、NarSuS データセンターが状態を察知し、NarSuS データセンターからメールでトラブルをお知らせします。

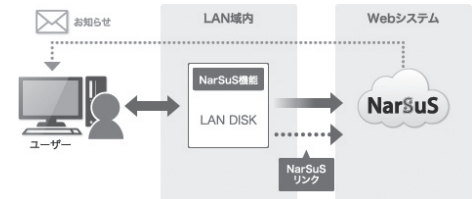
#### ● トラブル対処ガイダンス

トラブル発生の際に状況に合わせた対応ガイドを表示します。イラスト付きのガイドにしたがって操作するだけで、難しいバックアップの再構築や HDD 交換など、迷うことなく対処できます。

#### ● セキュリティへの配慮

NarSuS の通信は、製品から NarSuS データセンターへ、HTTPS で暗号化された一方通行の送信をおこなっています。

そのため NarSuS データセンター側から、直接製品に接続することはありません。また、製品から送信するデータは、製品の稼働情報のみであり、利用されているユーザーの情報やユーザーデータ（ファイルなど）が送信されることはありません。



### NarSuS のご利用環境

#### ● 対象製品の設置環境

インターネット接続可能な環境でご利用いただけます。

※ https で通信するため、ポート 443 の解放が必要です。

※ Internet Explorer でご利用の場合、[インターネット オプション] → [セキュリティ] を開き、[信頼済み サイト] に "https://www.narsus.jp" を登録しておいてください。

※ NarSuS は、IPv4 ネットワークでのみ使えます。

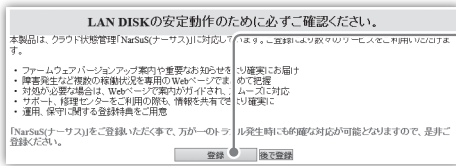
#### ● 対象製品の設置環境

以下の各 Web ブラウザーの最新バージョンをご利用ください。

・ Internet Explorer (IE8 以上) ・ Chrome ・ Firefox ・ Safari ・ Microsoft Edge

[初期設定] 画面を閉じると、下の画面が表示されます。

1



[登録] をクリック

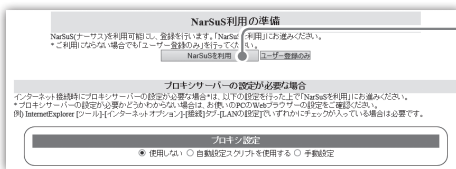
※ [後で登録] をクリックすると、画面を閉じますが、次回もこの画面が表示されます。

**本製品がインターネットに接続できない環境の場合**

この後の手順が異なります。

[登録] をクリック後、【インターネットに接続できない場合の登録方法】(24 ページ) をご覧ください。

2

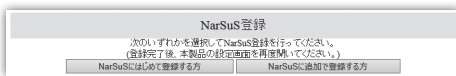


[NarSuS を利用] をクリック

**プロキシサーバーの設定**

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、この画面で設定できます。

3



NarSuS の登録状況でどちらかを  
クリック

4

画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

5

登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。  
以上で NarSuS 登録は完了です。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

## ご注意

●登録に失敗した場合、以下をご確認ください。

- ・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること（LAN ケーブルが正しく接続されていること）
- ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
- ・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
- ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

## NarSuS の利用方法

以下 URL にアクセスしてください。

<https://www.narsus.jp/>

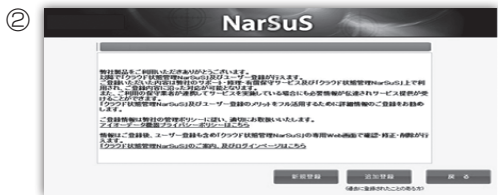
NarSuS へログイン後、[NarSuS ヘルプを開く] をクリックすると、NarSuS ヘルプをご覧いただけます。



## インターネットに接続できない場合の登録方法

①インターネットに接続できるパソコンで Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスする

<https://www.narsus.jp/user-reg>



NarSuS の登録状況で選択してクリック

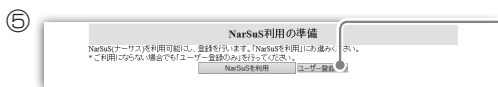
③画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

④表示された利用コードをメモする

※送付されるメールにも記載されています。

## 【ここから、本製品の設定画面】



[ユーザー登録のみ] をクリック



メモした利用コードを入力

[保存] をクリック



## ファームウェアの更新について確認する

- 本製品がインターネットに接続できる場合  
本製品は、ファームウェアの自動更新機能が有効に設定されています。  
そのため、常に最新のファームウェアでお使いいただけます。
- 本製品がインターネットに接続できない場合  
以下の手順で更新してください。

### 1 本製品の最新ファームウェアを入手する

#### 最新ファームウェアの更新方法

以下の URL にアクセスし、本製品の型番で検索します。

<http://www.iodata.jp/lib/>

### 2 本製品の設定画面を開く

※【ステップ 2：本製品の設定をする】(19 ページ) 参照

### 3



[システム] → [ファームウェア] → [更新] をクリック

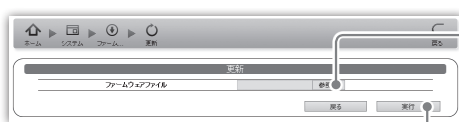
### 4



[ファームウェアファイルを指定する] を選ぶ

[更新] をクリック

### 5



ファイルを指定する

[実行] をクリック

次に、ステップ3へお進みください。

# ステップ3：パソコンからアクセスする

## アクセス用ユーザーを作成し、アクセス権を設定する

パソコンから本製品にアクセスするために必要なユーザーを作成します。

### 登録するユーザーについて

ネットワーク（パソコン）にログオンする際の「ユーザー名」と「パスワード」で登録すると、本製品へのアクセス時にユーザー名とパスワードの入力が不要になります。

### 1 本製品の設定画面を開く

※【ステップ2：本製品の設定をする】（19 ページ）参照

### 2



[ユーザー&グループ] →  
[ユーザー] → [追加] を  
クリック

### 3



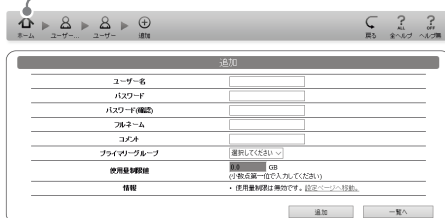
[ユーザー名]、  
[パスワード]、  
[パスワード]（確認）を入力

※ 入力可能な文字列は、画面で見るマニュアルをご覧ください。

[追加] をクリック  
⇒アクセス用ユーザーが作成されます。

次に、作成したユーザーに「disk1」フォルダーへのアクセス権をつけます。

### 4



[ホーム] をクリック

5



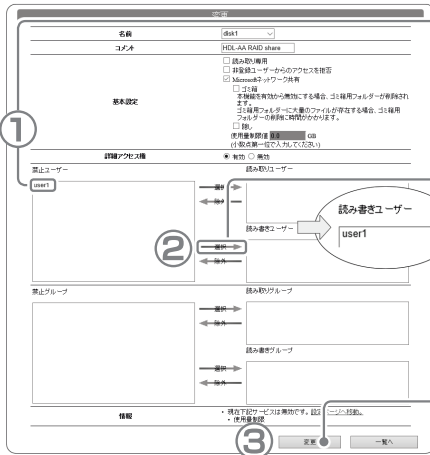
[共有] → [フォルダー] → [一覧] をクリック

6



disk1 の [変更] をクリック

7



[禁止ユーザー] にある手順3で作成したユーザーをクリック

[読み書きユーザー] の [選択] をクリック

⇒ [読み書きユーザー] に移ります。  
※ その他の設定は不要です。

[変更] をクリック

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

次に、【共有フォルダーにアクセスする】(28 ページ) へお進みください。

## 共有フォルダーにアクセスする

### ● Windows 10、8、7 の場合

※ Windows 8 の場合、デスクトップモードにします。

1



クイックバーにある  
[エクスプローラー] を  
クリック

2



①アドレスに  
「¥¥landisk-xxxxxx」  
と入力

※ xxxxxx は、LAN1 ポートの MAC アドレス  
下 6 桁です。[LAN DISK の名前] を変  
更した場合は、変更した名前を入力します。

② [→] をクリック

#### ユーザー名、パスワードを求められたら

アクセス用ユーザーのユーザー名、パスワードを入力します。

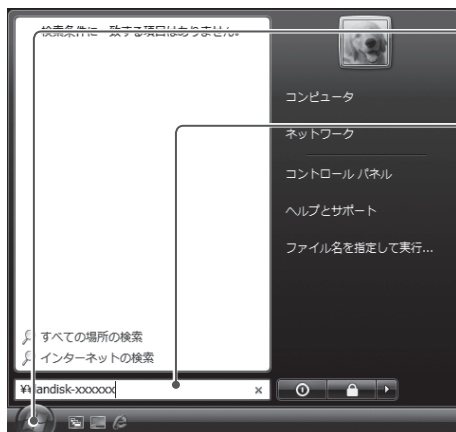
これで、データを読み書きできます。  
パソコン 1 台でご利用の場合は設定完了です。

#### この後の設定について

- 2 台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ3：パソコンからアクセスする】(26 ページ) 以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るために必ずバックアップを設定してください。  
バックアップについては、【データを守る (バックアップ)】(31 ページ) 以降をご覧ください。

## ● Windows Vista の場合

1

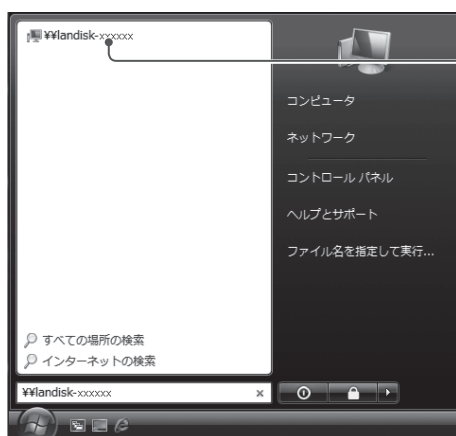


①スタートボタンをクリック

②検索開始に  
「¥landisk-xxxxxx」  
と入力

※ xxxxxx は、LAN1 ポートの MAC アドレス下 6 桁です。[LAN DISK の名前] を変更した場合は、変更した名前を入力します。

2

検索された  
「¥landisk-xxxxxx」を  
クリック**ユーザー名、パスワードを求められたら**

アクセス用ユーザーのユーザー名、パスワードを入力します。

これで、データを読み書きできます。  
パソコン 1 台でご利用の場合は設定完了です。

**この後の設定について**

- 2 台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ3：パソコンからアクセスする】(26 ページ) 以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るために必ずバックアップを設定してください。  
バックアップについては、【データを守る (バックアップ)】(31 ページ) 以降をご覧ください。

使う前に

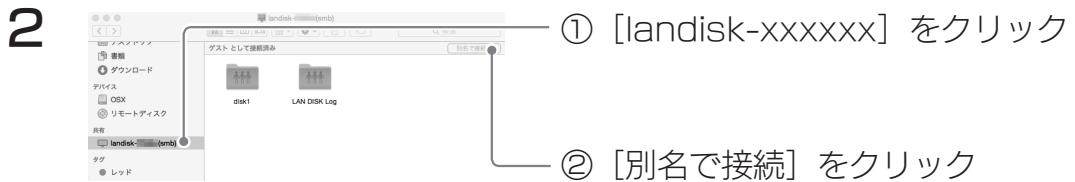
基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

## ● macOS の場合

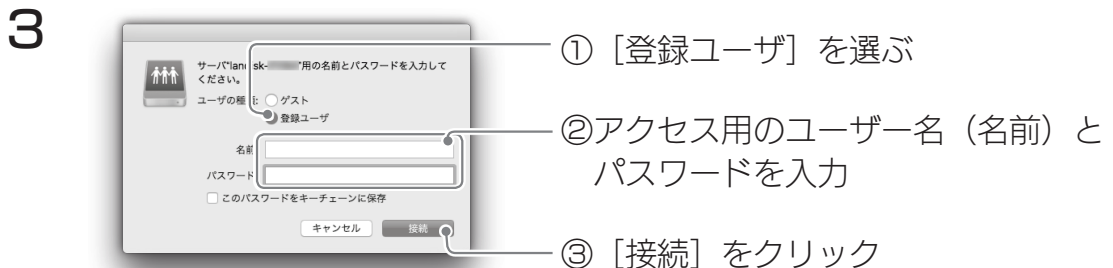


### 【LANDISK-xxxxxx】が表示されない場合

本製品から LAN ケーブルを抜き、ゆっくり 4 秒数えてから再び LAN ケーブルをつないでください。

それでも表示されない場合は、[移動] メニュー→ [サーバへ接続] を開き、「サーバアドレス」に [LANDISK-xxxxxx] ※と入力して [接続] してください。

※ xxxxxx は、本製品のシールに記載の MAC アドレス下 6 桁です。



これで、データを読み書きできます。  
パソコン 1 台でご利用の場合は設定完了です。

### この後の設定について

- 2 台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ3：パソコンからアクセスする】(26 ページ) 以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るために必ずバックアップを設定してください。  
バックアップについては、【データを守る (バックアップ)】(31 ページ) 以降をご覧ください。

# 本製品の基礎知識

本製品の機能を使うための基礎知識です。  
以下の内容を踏まえた上で、【便利な使い方】(33 ページ) をご覧ください。

## 共有フォルダーとは

本製品内のデータを格納する場所で、追加や削除ができます。  
共有フォルダーごとにアクセス制限が設定できます。

### 最初から設定されている共有フォルダー

※以下の共有フォルダーは、出荷時設定では管理者 (admin) のみがアクセスできます。

共有フォルダー	内容
disk1	ご購入時に設定されている使用のための共有フォルダーです。
LAN DISK Log	データコピーや、バックアップなどの結果が記録されます。 ※ この共有フォルダーは削除できません。
usbx	本製品の USB ポートにつないだ USB HDD です。
※ x はポート番号	例) USB ポート2につないだ USB HDD は、[usb2] と表示されます。

## ユーザー・グループとは

共有フォルダーへのアクセスを制限するための単位です。  
各人 (または各端末) ごとにユーザーを設定し、そのユーザーのアクセス可 / 不可を設定できます。また、複数ユーザーをまとめたグループを作り、それに対してアクセス権を設定できます。

## データを守る (バックアップ)

パソコンと本製品の 2 か所に同じデータを保存することで、万一の故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えます。  
不測の事態に備えるために、バックアップの設定をしてください。  
別売の USB HDD を本製品に増設し、本製品のデータをバックアップすることもできます。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

## 機能を追加する（アドオンパッケージ）

本製品には、さらに別の機能を追加することができます。  
 詳細は、各パッケージのマニュアル（PDF）をご覧ください。

パッケージ名	機能
AppleShare	macOS からのアクセスが可能になります。
Remote Link 3 (リモートリンク 3)	外出先のモバイル機器からインターネットを介して、本製品に保存したデータを見ることができます。
FTP	FTP 共有を有効に設定した共有フォルダーに、FTP クライアントよりアクセスすることができます。
クラウドストレージ連携	共有フォルダーとインターネット用の各種有償ストレージサービスを同期させることができます。
HOME-BOX <sup>2</sup> 連携	共有フォルダーと、キャノンマーケティングジャパン株式会社が運営するインターネット用の有償ストレージサービス「HOME-BOX <sup>2</sup> ストレージサービス」の共有フォルダーを同期することができます。
Working Folder 連携	富士ゼロックス株式会社のクラウドサービス「Working Folder」と共有フォルダーを同期させることができます。
レプリケーション	メイン機の共有フォルダーと、予備機の共有フォルダーを同期し、同じ状態に保ちます。
クローン	レプリケーションを応用し、自動切り替え（フェイルオーバー）にも対応した耐障害性の高い冗長化を提供します。
Trend Micro NAS Security	トレンドマイクロ社の NAS 向けアンチウイルス機能が提供されます。
ESET File Security	ESET（イーセット）社の NAS 向けウイルス対策ソリューション「ESET File Security」を採用し、ウイルス対策機能を持たない NAS への機能追加が可能です。
H / XR / XV 移行	NAS のリプレイス時にご利用いただけるデータ・設定移行ツールです。
ログ拡張	アクセスログ、システムログの長期保存および、アラート機能を使った情報漏えいの兆候の検出のほか、USB メモリーを使った制限キー機能を搭載し、アクセスログの保護も可能になります。

最新情報は、設定画面の [システム] → [パッケージ管理] → [追加] でご確認ください。



# 便利な使い方

## 機能一覧

本製品には以下の機能があります。

詳しい設定方法は【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

機能 (目的)	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
ユーザー、グループを追加する	 ユーザー&グループ → ユーザー → グループ → 追加	【共有フォルダー】
共有フォルダーを追加する	 共有 → フォルダー → 追加	【共有フォルダー】
削除したファイルを一時的に保管する	共有の追加・変更で設定	【共有フォルダー】
CSV ファイルを利用して共有を一括登録	 一括登録 → CSV → CSV一括登録	【共有フォルダー】
履歴ごとにバックアップ(履歴差分バックアップ)	 データバックアップ → バックアップ → 追加	【バックアップ】
フォルダー構成を保持したデータコピー	 データバックアップ → データコピー → 追加	【バックアップ】
USBメモリーのデータを自動コピー	(初期設定) USBポート1につなぐ	【バックアップ】
別のHDDに複製(ミラーリング)	 ボリューム → USB3 → USB4 → モード設定	【ミラーリング】
USB HDDをつなぐ(フォーマットする)	(初期設定) USBポート1以外につなぐ	【機器を増設する】
機能を追加する(パッケージ追加)	 システム → パッケージ管理 → 追加	【パッケージ(追加機能)】
使う容量を制限する	 システム → サービス設定	【使用量制限】


使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

機能（目的）	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
ユーザーの使用量を制限する	 ▶  ▶  ユーザーグループ ユーザー 使用量制限	【使用量制限】
グループの使用量を制限する	 ▶  ▶  ユーザーグループ グループ 使用量制限	【使用量制限】
フォルダーの使用量を制限する	 ▶  ▶  共有 フォルダー 使用量制限	【使用量制限】
暗号化する	 ▶  ▶  ボリューム 内蔵 USB 2.0 USB2 フォーマット	【暗号化ボリューム】
暗号化のためのロックキーを管理する	 ▶  ▶  ボリューム ロックキー キーサーバー	【暗号化ボリューム】
HDD にエラーがないか確認する	 ▶  ▶  ボリューム 内蔵 USB 2.0 USB2 チェックディスク	【ハードディスクをチェックする】
ネットワーク上の名前変更する	 ▶  システム abc 名前設定	【LAN DISK の名前を変更する】
日付と時刻を設定する	 ▶  システム 時刻設定	【日付と時刻を設定する】
IP アドレスなどを設定する	 ▶  ▶  ネットワーク LAN1 IPv4	【ネットワークを設定する】
プロキシを利用する場合の設定をする	 ▶  ネットワーク プロキシ設定	【プロキシ設定をする】
管理者パスワードを変更する	 ▶  システム 管理者設定	【管理者パスワードを変更する】
電源を切る / 再起動する	 ▶  ▶  システム 電源 シャットダウン	【シャットダウン / 再起動する】
起動 / 終了時刻を設定する	 ▶  ▶  システム 電源 スケジュール設定	【起動スケジュールを設定する】
停電復帰時に自動で電源を入れる	 ▶  ▶  システム 電源 AC電源連動設定	【AC 電源連動設定をする】
電力消費を抑える	 ▶  ▶  システム 電源 省電力設定	【省電力機能を使う】

機能（目的）	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
FUNC. ボタンを無効にする	 ▶  ▶  システム ▶ ボタン ▶ FUNC. ボタン設定	【各ボタンを有効 / 無効にする】
RESET ボタンを無効にする	 ▶  ▶  システム ▶ ボタン ▶ リセットボタン設定	【各ボタンを有効 / 無効にする】
ランプの明るさを調節する	 ▶  システム ▶ ランプ設定	【ランプの明るさを設定する】
正常に動作していることを確認する	 ▶  システム ▶ 自己診断	【自己診断する】
ファームウェアの更新設定を変更する	 ▶  ▶  システム ▶ ファームウェア ▶ 更新	【ファームウェアを更新する】
本製品に対する操作の履歴（ログ）を確認する	 ▶  情報・ログ表示 ▶ アクセスログ	【アクセスログを確認する】
システム動作の履歴（ログ）を確認する	 ▶  情報・ログ表示 ▶ システムログ	【システムログを確認する】
各設定情報を確認する	 情報・ログ表示	【各種情報を確認する】
本製品を出荷時設定に戻す	 ▶  システム ▶ 初期化	【出荷時設定に戻す】
プリンターを増設する	USB ポート 2 につなぐ	【機器を増設する】
UPS を増設し、UPS 関連の各設定をおこなう	 ▶  ▶  システム ▶ 電源 ▶ UPS 設定	【機器を増設する】
Active Directory へログオンする	 ▶  ユーザー&グループ ▶ Microsoft ネットワーク設定	【Active Directory・NT ドメインログオン】
メールで各種通知をおこなう	 ▶  システム ▶ 通知	【通知機能】

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

# 本製品の容量を増やす

容量を増やすことができるのは、RAID モードが「拡張ボリューム」の場合のみです

「拡張ボリューム」以外の RAID モードでは、この操作はできません。  
場合によっては、RAID 崩壊のおそれがあります。

ペアになっているカートリッジや USB HDD を順番に交換し、最終的に両方を交換することで本製品の容量を増やします。

## 拡張ボリュームとは？（出荷時には拡張ボリュームに設定されています）

**動作** それぞれ 2 台の HDD でペアを構成し、ファイル単位でミラーリングします。  
このようなペアが複数集まり、1つのドライブとして構成されます。

**故障時** ペアが A と A' で構成されている場合、仮に A が故障した場合は A' が補完します。  
A を交換すると、A' から A へ再構築処理を実施します。  
この時、使われている容量分のみで再構築するため、処理が早く完了します。

**容量** ペアの容量を全て合計したものが本製品の容量となります。  
なお、各ペアの容量を同一サイズにする必要はありません。

**構成** カートリッジが 4 つあるため、ペアが 2 つできます。  
※ USB ポート 3 と 4 でもペアを作ることができます。USB HDD を片方だけつないだ場合、ミラーリングはされませんが、その容量は合計されます。



## 準備する

- 現在のカートリッジや USB HDD の容量より大きいものを2台準備します。
- 交換するカートリッジや USB HDD のペアを決めます。

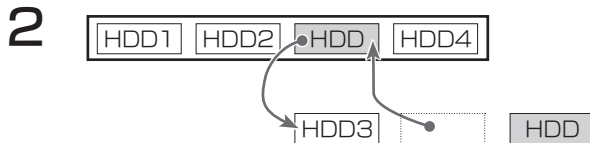
## 交換方法

内蔵 HDD 3と4を交換する場合の例です。



[ボリューム] → [内蔵] → [取り外し] をクリックし、ペアの片方を選び実行する

※ USB HDD の場合は、[ボリューム] → [USBx] → [取り外し] をクリック



ペアの片方を取り外し、容量の大きいものと交換する

【カートリッジの交換方法】(40 ページ)

※ペアの片方を取り外すと「構成異常」になり STATUS ランプが赤点滅します。速やかに交換してください。

**再構築が開始されます。**

**再構築が終わるまでお待ちください。**

### 構築状況を確認する

[ボリューム情報] で確認できます。

内蔵ディスクの [ステータス] に「正常動作」と表示されたら再構築完了です。

※情報を更新する場合は、再度 [ボリューム情報] を開き直してください。



ペアのもう片方について、手順1、2の操作をおこなう

**再構築が開始されます。**

**再構築が終わるまでお待ちください。**

再構築が終わると、本製品の容量が増えます。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

# ランプと対処

万が一に備えて、定期的にバックアップしてください

- RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。  
事前にバックアップ設定をして、万が一の故障に備えてください。

## 故障と思ったら…

STATUS ランプが赤く点灯・点滅し、ブザーが鳴った場合は、以下の状況を確認してください。

### ▼ランプの状態

POWER ランプ	消灯	コンセントにつないでいない
	赤点灯	電源は切（コンセントにつないでいる）
	緑点灯	電源は入
STATUS ランプ	緑点灯	正常状態
	緑点滅	システム処理中
	赤点灯	警告レベルのお知らせがある状態
	赤点滅	エラーレベルのお知らせがある状態
HDD ランプ	青点灯（点滅）	正常状態（アクセス中は点滅）
	赤点灯	RAID 崩壊時、該当 HDD は正常
	赤点滅	該当 HDD が故障
	消灯	該当 HDD が未接続

### ▼ブザーの状態

「ピー」× 1回 鳴る	<ul style="list-style-type: none"><li>● 正常に起動した</li><li>● 内蔵カートリッジや USB HDD を正常に取り付けた</li><li>● クイックコピー / ボリューム設定変更 / などに成功した</li></ul>
「ピー」× 3回 鳴る	<ul style="list-style-type: none"><li>● DHCP サーバーから IP アドレスを取得できなかった DHCP サーバー設置、固定 IP 設定などネットワークを検討</li><li>● 内蔵カートリッジを取り付けたが、問題があった（故障や容量不足）</li><li>● USB HDD を取り付けたが、問題があった（故障や容量不足、フォーマット形式に対応していない、また、拡張ボリュームやミラーリングでは、USB HDD にデータが入っている）</li><li>● 対応していないカメラやメモリーをつないだ（クイックコピーモード）</li><li>● クイックコピーに失敗した（ログを確認）</li><li>● 設定変更 / 操作に失敗した</li><li>● インターネットに接続できなかった<ul style="list-style-type: none"><li>・ ルーターとの接続を確認、RESET ボタンでの一部設定の初期化（方法は【画面で見るマニュアル】参照）</li><li>・ インターネット接続しない場合、【画面で見るマニュアル】の【ランプと対処】参照、またはネットワーク設定などを確認</li></ul></li></ul>

「ピッ」×3回鳴る	● フォーマット/チェックディスク/バックアップ/クイックコピーが正常終了した
「ピッ、ピッ」と鳴り続く	● RAID の構成に問題が発生している（内蔵カートリッジの故障など）
「ピーポー」と鳴り続く	● RAID が崩壊した（内蔵カートリッジの故障など）
「ドレミ」と鳴り続く	● UPS が接続されていない/停電状態（UPS 警告が有効）
「ピピッ」と鳴り続く	● 警告対象が、使用量制限値に達した（使用量警告が有効）

使う前に

ランプ・ブザーの状況からどの HDD が故障しているか、RAID 構成は無事なのかを確認します。

基本的な使い方

### まずは、データをできるだけ回収する

データにアクセスできる場合は、速やかにデータを退避させてください。データにアクセスできない場合は、本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れてください。

場合によっては、保存されたデータにアクセスできることがあります。

※弊社では、取り出したデータの保証はできません。

便利な使い方

ランプと対処

### 故障したディスクを交換する

内蔵ディスクが故障している場合は、カートリッジの交換が必要です。

【カートリッジの交換方法】（40 ページ）をご覧ください。新しいカートリッジに交換してください。

※カートリッジが完全に交換されるまで、データの冗長性は低くなっているか、失われています。速やかにカートリッジを交換してください。

資料

USB HDD が故障している場合は、USB HDD の交換が必要です。故障した USB HDD を取り外し、新しい USB HDD をつないでください。

#### RAID が崩壊していたら…

本製品の RAID モードを拡張ボリューム以外に変更していた場合は、RAID 崩壊の可能性があります。

この場合の対処方法は、【画面で見るマニュアル】内の【HDD 故障時の対応】をご確認ください。

# カートリッジの交換方法

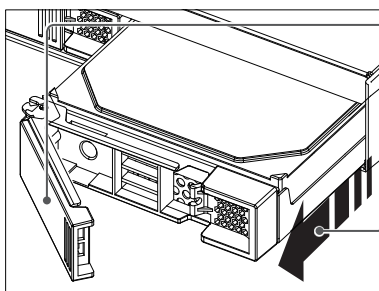
## カートリッジ交換時のご注意

- 本製品のカートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊してすべてのデータを失う危険があります。  
拡張ボリュームで容量を増やす際は、記載された手順にしたがってください。  
【本製品の容量を増やす】(36 ページ) 参照
- STATUS ランプの点灯状況や、該当カートリッジの HDD ランプが赤点滅もしくは消灯していることを確認した上で取り外してください。
- 本製品の電源が入っている状態で、カートリッジを取り付けてください。
- カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず 1 台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。

## 対応カートリッジ

対応カートリッジについては、【交換用 HDD】(9 ページ) をご覧ください。

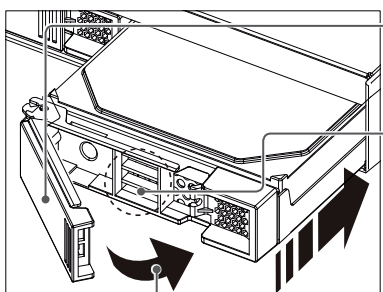
### 1 カートリッジを取り外す



- ①取り外すカートリッジの着脱レバーを上げる
- ②カートリッジを手前に引いて取り出す

### 2 本製品の電源が ON であることを確認する 電源が入っていない場合は、電源 ON にしてください。

### 3 カートリッジを取り付ける



- ①取り付けるカートリッジの着脱レバーを固定されるまで上げる
- ②○を押し、カートリッジをスロットの奥まで挿入する  
押し込む際は、必要以上の力を加えない  
必要以上のちからを加えると、故障の原因になります。
- ③着脱レバーが“カチッ”となるまで下ろす



## 添付ソフトについて

本製品の使用には必須ではありません。必要に応じてお使いください。  
使用方法については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

ソフト名	詳細
EasySaver 4 LE	多彩な機能でカスタマイズして、バックアップを設定できます。
Sync with	フォルダー間を定期的に同期します。簡単なバックアップもできます。
LAN DISK Admin	LAN DISK を複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。
LAN DISK Restore	設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化することができます。
LAN DISK Key Server	ボリュームの暗号化機能により USB メモリーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。本製品の起動の度にロックキーを接続する作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に常に保存しておくことができます。
LAN DISK Backup Reader	本製品が故障し、専用フォーマットの USB HDD からバックアップファイルが読み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。
Sight On	メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができます。ファイル更新時にポップアップで通知します。

上記ソフトウェアは、添付のサポートソフトに収録されています。

最新のソフトウェアについては、サポートライブラリからダウンロードしてください。

▼サポートライブラリ

<http://www.iodata.jp/lib/>

※上記 Web ページにアクセスし、本製品の型番で検索してください。

# アフターサービス

## 重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<http://www.iodata.jp/privacy.htm>)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

## お問い合わせについて

弊社サポートページにて、**以下をご確認ください**

### ▼ 弊社サポートページ

<http://www.iodata.jp/support/>



- 1 「Q&A よくあるご質問」を参照
- 2 最新のソフトウェアをダウンロード



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

**電話：050-3116-3025**

※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

**インターネット： <http://www.iodata.jp/support/>**

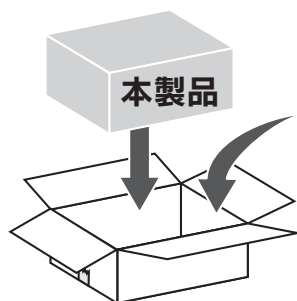
※ご用意いただく情報▷製品情報（製品名、シリアル番号など）、PCや接続機器の情報（型番、OSなど）

保証期間

3 年間

## 修理について

以下を梱包し、修理センターへお送りください



## レシート、納品書

など購入日を示すもの  
または保証書

+

## メモ

・名前・住所・TEL/FAX番号  
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。  
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。  
※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。

【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。

【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。

<http://www.iodata.jp/support/after/>

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

# ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

## 1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

## 2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

## 3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

## 4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

## 5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

## 6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

**MEMO**

### 【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

<http://www.iodata.jp/biz/whitepaper/>



### 【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。

設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

<http://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>



## 【使用ソフトウェアについて】

本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。  
変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。

<http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。  
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

HDL-HR シリーズ LAN DISK 管理マニュアル 2018.5.9  
発行 株式会社アイ・オー・データ機器

【マニュアルアンケートはこちら】  
よりよいマニュアル作りのため  
アンケートにご協力願います。



型番	HDL-HRシリーズ
保証期間	ご購入日より <b>3</b> 年間有効です

☆ お 客 様	ふりがな	
	お名前	様
	TEL. (            )            -	
	〒□□□□-□□□□	
	ご住所	

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。  
 記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。  
 販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店  
 にお申し出ください。  
 また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販 売 店	ご購入日	
	住所・店名	
	TEL. (            )            -	印

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社(修理センター)にご依頼ください。

**I-O DATA**



株式会社 **アイ・オー・データ機器**

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

ホームページ <http://www.iodata.jp/>